



# 明智 慧 展

My Heart My Prayer and My Favorite Things

2016年  
3月10日(木)～15日(火) 11:00～19:00(最終日は16:00)

爛漫 (F10)



閑寂の中にVI (F40)



雲中供養菩薩 (F6)



佳き日 (F50)



\*画像・イラスト等の保存・無断転載・二次利用等は禁止します\*

## 明智 慧

広島県生まれ。日本、フランス、イタリア、オーストリア、モナコ、ギリシャ、ハワイ、中国等出展受賞多数。／個展 12年大阪 茶屋町画廊 14年パリ エチエンヌコーザンギャラリー／掲載 10年『水墨画II』(美術年鑑社) 13年『富士山』(美術年鑑社) 13年・14年『グランオペラ』(フランス／13年ファーストアワード)、他多数。現在、無所属。

今週開催された展覧会は、明智慧先生による絵画展です。会場には大小合わせ九二五点の作品と、師・片岡真太郎氏の作品が一点展示されました。大きな作品は一〇〇号と大きく、ロマンが詰まった表現に一目を奪われます。

先生は水墨画・デッサンの基礎を学んだ後、洋画家片岡真太郎氏のもと、東西の芸術論を修学されました。作品の特徴は墨で描かれる作品ですが、水を多く含ませ滲むように描くだけではなく、墨の濃淡で力強く生い茂る草の表現から花嫁の空気を含んだ淡く柔らかなヴェールと非常に表情豊かなタッチで描かれています。このような表現だけではなく、濃く凍としたアウトラインを描いた作品もあり、一見、水墨画の様でありながらも、色を重ねて描く油絵や水彩の様な描き方をされている様に作品からは伺え、先生の限らない表現方法の追求に興味を惹かれます。作品には所々、墨の他に金とプラチナでつけられた色が光り輝きます。

それは、墨で塗り重ねられた草花と重なり、瑞々しさが輝く様にも見えます。モノクロームで表現されているため、色はあまり使用されていません、しかしモノクドで表現されているからこそ、作品を眺めている内に赤や黄色などの色鮮やかな花の色や青々とした草の色が脳裏に浮かび上がる様な作品が多く、墨という概念を超越した爛漫な展覧会となりました。